

デイサービスセンター町田誠心園

第6回運営推進会議 議事録

開催日時 令和1年9月26日(木)

17時00分～18時15分

開催場所 デイサービスセンター町田誠心園

出席者 構成員:下小山田町内会会長、職員・地域ボランティア、民生委員、高齢者支援センター管理者、ご利用者様1名(F様)、社会福祉法人三光会理事長、社会福祉法人三光会最高顧問、デイサービス管理者、事務長、デイサービス主任、デイサービス生活相談員、デイサービス介護職員2名

議題

◆社会福祉法人三光会理事長 挨拶

町田誠心園のデイサービスは元々通常型のデイサービスでしたが、平成28年より地域密着型デイサービスに移行したため、この運営推進会議を年に2回開催することが義務付けられています。これまでは日曜日に運営推進会議を開催していましたが、日曜日は都合がつかないので平日にして欲しいとのご意見があったので、今回は平日の夕方に開催させていただくことになりました。ただ、結果的にこれまでよりもご出席いただける方が少なかったのは残念です。

今回は町田市の運営推進会議に関するガイドラインを改めて資料として配布させていただきましたが、この運営推進会議の目的としては1つ目は「透明性の確保」、2つ目は「抱え込みをしないようにする」、3つ目は「運営を通してサービスの質の向上に役立てる」というものがあります。改めて見つめなおして透明性の確保、情報の開示が必要と感じましたので当デイサービスセンターの収支についてお話をさせていただきます。平成30年度につきましては、収入が約2300万円に対して支出が約3000万円となっており、おおよそ700万円の赤字になっています。お恥ずかしい数字ですが、こうした情報も開示する必要があると感じましたのでお話しさせていただきます。数字のとおり運営としては非常に厳しいのですが、赤字だからと言って切り離すのではなく、地域の中で貢献していくためにいろいろな形でサービスを展開する必要があると考えていますので、もちろん今後もデイサービスは継続していきます。

◆出席者紹介

○下小山田町内会会長

『4月から会長とさせていただいています。町田誠心園のすぐそばに弟が住んでいますが、納涼祭には近隣の方が大勢参加されており地域に密着している施設であることを再認識しています。』

○ご利用者(F様)

『常盤町に住んでいます。デイサービスセンター町田誠心園には月・水・金に通っていき、様々なものを制作しています。地域の方が集まっている席に呼ばれて何を話したらいいか戸惑っています。』

○高齢者支援センター管理者

『市の方が参加していないのは残念です。市の方も参加して生の声を聞いてほしいです。私は地域と事業所の接着剤の役割ですので、運営推進会議に参加することで地域の方と事業所がお互いに

支えあい、助け合えるように橋渡しをさせていただきたいと考えています。』

◆職員紹介

◆デイサービス管理者 挨拶

これまでは日曜日の開催だったので、限られたスタッフしか参加できなかったが、今回は実際に介護しているスタッフも参加することができました。10月より消費税増税に伴う介護報酬の改定があり、1日当たり13円から23円程度ご負担金が増えることとなります。また、当施設では調理は専門の業者に委託しているのですが、同じく10月より委託先を変更することになっておりまして、それに伴い11月より食費を700円から800円に変更させていただくことになりました。

◆活動報告

デイサービスで作成した様々な作品を披露する機会がないかを考えていましたが、今年は施設全体の行事である納涼祭の時に作品展のスペースを用意して一般の方に見ただけのようにすることができ、デイサービスご利用者からも嬉しかったとお話をいただきました。今後も、作品展や文化祭等、形は変わるかもしれないが作品を披露する機会を設けていきたいと考えています。こうした様々な作品は保管するスペースがないのですが、せっかく作ってもらった物を捨ててしまうわけにもいかないので、地域にある高齢者サロンにプレゼントをさせていただきました。また、納涼祭の時にはご家族やスタッフから品物を募ってバザーを開催しております。売上金は施設の花壇に植えるお花等に活用させていただいています。今後も、こうした様々なイベント等をとおして、笑顔を作る機会を提供していきたいです。

◆事故報告

〔資料をもとにヒヤリハット・事故報告について報告〕

※事故報告①は事故ではなくヒヤリハットに訂正

◆ご利用体験

舌体操、あいうえお体操、パタカラ体操

ご利用者（F様）によるカラオケ披露

◆自由意見

○高齢者支援センター管理者

『この誠心園のデイサービスが地域にどういった貢献ができるのか、地域とどう絡んでいくのか、地域で困っているときにどう手を差し伸べていけるのか、そうしたことを話し合いができる場になればいいと思います。いろんなところの運営推進会議に参加しているが、もっと意見が飛び交うようになったらいいと思います。小さな助けとが届くようになったらこの会議は成功したと言えるのではないのでしょうか。』

○社会福祉法人三光会理事長

『町田誠心園の評価はどのようなのですか?』

⇒私たちは評価する機関ではなく、あくまでも公正中立の立場です。今はご利用者様も自分で

調べて自分で選択される方が増えています。抱え込みには特に厳しくしており、どこの事業所にいつ、誰をお願いしたかもきちんと管理しています。(高齢者支援センター管理者)

○地域ボランティア

『デイサービスの利用相談を受けた際に支援センター等に任せているが、私たちにはどこがいいのか判断できないのですが、どういう基準でどこのデイサービスに紹介をされているのか?』

⇒日光の施設にも支援センターがあるのですが、あくまでもご利用者本位で利便性やニーズに合わせて紹介をさせていただいていますね。(社会福祉法人三光会理事長)